

科目名	カウンセリング基礎演習					開講 キャンパス	神 園
担当者	古 賀 靖 之・平 川 忠 敏・長 野 恵 子						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必修
授業の概要 及びねらい	カウンセリング的資質を習得するためには「自己理解」、「他者理解」、「対人関係理解」の3つの要素をそれぞれ深めていくことが必要である。特に「自己理解」は、対人援助を行っていく上で重要な要素であり、自分を一側面から捉えるのではなく、多角的視点から自分を見つめ、自分の可能性と限界を知り、自分らしさを受容していくことが必要である。そこでこの授業では、「自分を知る」「自己理解を深める」ことを目的に、エゴグラムやバウムテストなどの心理テストを実際に行い、自分自身を客観的に捉える視点を習得する。						
授 業 の 到達目標	1. 自分自身のさまざまな側面に対する理解を深めることに関心が持てる。 2. ワークシートのデータを客観的な指標に基づき分析した結果について理解できる。 3. 性格検査の結果に自分自身がどう反映しているかについて関心をもてる。 4. 自己理解のあり様を適切に文章面で表現できる。 5. グループのなかで、他者の意見を聴き、自分の意見を適切に表現できる 6. 心理学の理論を自己理解に関連づけて考えることができる。 7. 家族、学校、地域など自分をとりまく環境と自分自身との関連を理解し、関連付けて考えることができる。 8. 非言語的コミュニケーションの重要性について理解できる。						
学習方法	ワークシートの使用。発表およびグループ討議。						
テキスト及び参考書等	テキスト：「新自分探しの心理学—自己理解ワークブック」 川瀬正裕他編 ナカニシヤ出版 参考書：「エクササイズで学ぶ心理学」青木智子他著 北樹出版						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	○	○	◎	◎			40
宿題・授業外レポート	○	◎	◎	○			30
授業態度			◎	○			10
受講者の発表		○	○	◎			10
授業への参加度			◎				10
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	自分自身を知るとは						
第 3 週	性格面から知る① エゴグラムを通して						
第 4 週	性格面から知る② T S Tを通して						
第 5 週	発達のプロセスから考える						
第 6 週	青年期の在り方から考える						
第 7 週	対人関係の在り方から考える						
第 8 週	ストレスとストレス対処の在り方から考える						
第 9 週	ソーシャルスキルを考える						
第 10 週	コミュニケーションの在り方を考える（言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション）						
第 11 週	コミュニケーションの在り方を工夫する						
第 12 週	人の話を聴くということ						
第 13 週	自分を知るということ						
第 14 週	グループでの討議						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	演習で行ったことの振り返りとしてレポートをまとめてくること。次週の単元箇所に該当する教科書の内容を読んでおくこと（授業中に指示します）。レポート課題はA4用紙1枚程度の分量です。						